

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山武道館
施設所在地	岡山県岡山市北区いずみ町2-1-8

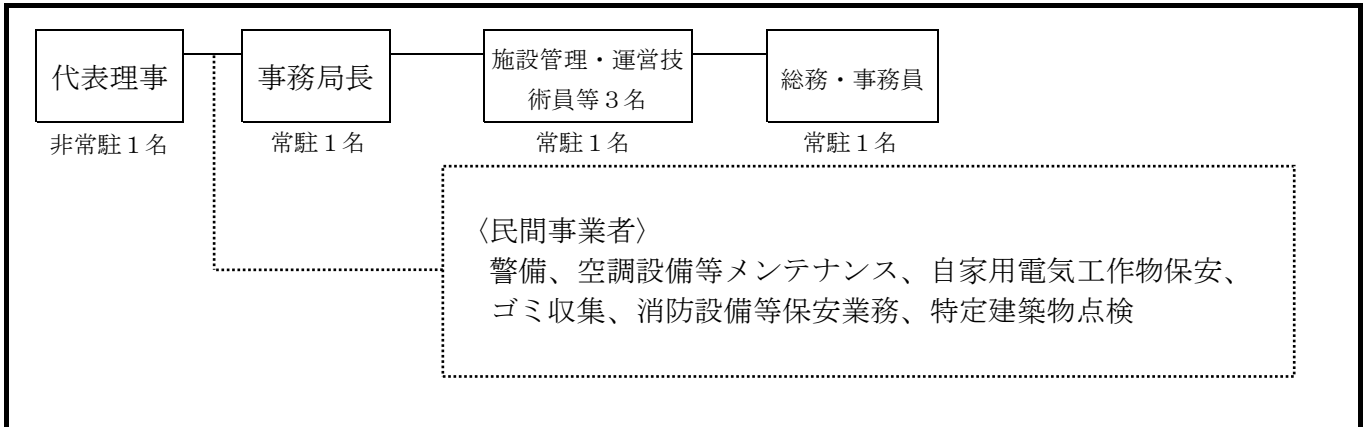
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人岡山県武道振興会	代表者	代表理事 宮川 健
所在地	岡山県岡山市北区いずみ町2-1-8		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	- 岡山武道館の施設及び設備の利用許可等に関すること。 - 岡山武道館の施設及び設備の維持管理に関すること。 - 施設等の利用促進に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		主道場	練習道場	合 計
許可 件 数	7 年度	178	283	461
	6 年度	149	228	377
	増 減	29	55	84

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の利用許可業務	- 主道場：178件（38,590人） - 練習道場：283件（9,196人） - 合計：461件（47,786人）
施設等の維持管理業務	施設等維持修繕 ・ 施設等保守点検 ・ 清掃 ・ 一般廃棄物処理 ・ 警備
自主企画事業	- 武道学園 令和7年4月9日～令和8年3月14日（参加者延べ2,077人） 中、高校剣道勝ち抜き大会 令和7年8月1日（参加者400人） - 社会人柔道優勝大会 令和7年11月30日（参加者1,000人）

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	主道場	練習道場	売店施設等	合 計
収 入 額	13,791,281	4,076,020	722,400	18,589,701
利用件数	178	283	—	461
減 免 額	732,450	0	0	732,450
減免理由	岡山武道館利用料金の減免規程第3条に該当するため。 (1) 物品販売…82,450円 (2) 入場料 …650,000円			

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		30,200,264	3,825,114	26,375,150	7 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の 上昇に応じた増額分 1,652,000円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 受取民間補助金 (IT導入) 184,500円 7 年度支出額 ・その他の主なもの 大会、式典時施設 利用料 562,091円
内 訳	指定管理料	9,506,815	693,000	8,813,815	
	利用料金収入	18,589,701	2,995,486	15,594,215	
	事業収入	1,825,500	207,500	1,618,000	
	その他	278,248	△70,872	349,120	
支 出 額 B		34,713,614	5,895,881	28,817,733	
内 訳	人件費	15,836,302	4,359,305	11,476,997	
	管理運営費	12,354,129	351,650	12,002,479	
	事業費	4,319,130	355,321	3,963,809	
	その他	2,204,053	829,605	1,374,448	
収 支 額 A－B		△4,513,350	△2,070,767	△2,442,583	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		7,854,815	0	7,854,815	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	施設を有効に活用した適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	施設の日常点検を行い、安全管理に努めていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の維持修繕を実施し、適切な管理が履行されていた。
導入効果	① 利用状況	B	前年度より許可件数、利用者数ともに増加した。 【許可件数】 R7： 461件 ← R6： 377件 【利用者数】 R7： 47,786人 ← R6： 38,243人
	② 収支状況	B	利用件数、利用者数の増加に伴い収入は増加したものの、人員増員、物価高騰等により支出も増加し、収支赤字となった。
	③サービス向上	B	利用者からの要望に迅速に対応するなど、安全、安心に利用できるよう、サービス向上に努めていた。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組もなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D：予定していた業務水準を下回った。